

1. 「はてなをもとめて、自ら学びに向かう力の育成」に関わって

- ・はてなみつけを使って、調べたいじどう車について知っていることや疑問に思うことを出させる。(問いを生む2)
- ・学習計画をもとに、児童のふりかえりからめあてをたてさせる。(めあて2)
- ・「じどう車くらべ」の学習を想起させ、単元計画を作り、学習の見通しをもたせる。(見通す2)
- ・教師が準備した本からじどう車を選び、図鑑を作らせる。(実行する1)
- ・具体的にふりかえることができるよう、書き方の型を提示する(R80)。(振り返る2)

2. 単元名

「じどう車ずかん」をつくろう(国語)

3. 単元の目標

- ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
- ・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
- ・分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。

4. 単元の評価規準

- ・紹介したいじどう車の「しごと」と「つくり」の関係について理解している。【知識・技能】
- ・紹介したいじどう車の「しごと」に合った「つくり」を選んで書き、「じどう車しょうかいカード」の簡単な構成を考えている。【思考・判断・表現】
- ・分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって「じどう車ずかん」を作ろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

5. 単元計画(全5時間)

国語	・「じどう車ずかん」を作ることを確認し、「じどう車くらべ」の学習を通して、じどう車の紹介のしかたを知る。 ・紹介するじどう車を決める。
----	--

第1次	第1時 (本時1)	「じどう車ずかん」の作り方を確かめ、学習の見通しをもつ。
第2次	第2時	紹介したい自動車の「しごと」について調べ、分かったことを文にまとめる。
	第3時 (本時2)	紹介したい自動車の「つくり」について調べ、分かったことを整理する。
	第4時	前時までの学習を基に、「じどう車しょうかいカード」を完成させる。
第3次	第5時	隣のクラスと「じどう車しょうかいカード」を読み合い、感想を伝え合う。

国語(図書)	・読みたいと思ってもらえるようなポップを作る。 ・完成した「じどう車ずかん」を図書館に置く。
--------	---

6. 本時1の目標

「じどう車ずかん」の作り方を話し合うことを通して、学習の見通しをもとうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

7. 本時1の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
10分	1. 「じどう車ずかん」を作ることを確認する。 2. 隣のクラスと紹介し合うことを知る。 3. 本時のめあてを確認する。 「じどう車ずかん」づくりのけいかくをたてよう。	・前単元の学習と、図鑑について知っていることを出し合い、板書して整理する。 ・隣のクラスと紹介し合うことを伝え、相手意識を高められるようにする。	
25分	4. 「じどう車ずかん」の作り方を確かめ、学習の見通しを持つ。 5. 事前に選んだ自動車の写真を見て、知っていることや疑問に思ったことを書く。	・「しごと」と「つくり」について確認する。 ・「クレーン車」で書き方の例を示す。	
10分	6. ふりかえりをする。	・ふりかえりの書き方の型を提示する。 ・調べたいことについて書くよう伝える。 ・具体的な場面を想定した予想も書くよう伝える。	「じどう車ずかん」の作り方を話し合うことを通して、学習の見通しをもとうとしている。 【主】(ワークシート)

8. 本時の評価基準(ルーブリック)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する状況への支援
「じどう車ずかん」を作るために、調べたいことと、具体的な場面を想定した予想を書いている。	「じどう車ずかん」を作るために調べたいことを書いている。	ふりかえりを書き込むヒントカードを用意する。

9. 本時2の目標

紹介したいじどう車の「しごと」に合った「つくり」を考えて、書くことができる。【思考・判断・表現】

10. 本時2の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
5分	1. 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	・これまでの学習の例文や絵を示しながら、「しごと」に合った「つくり」の関係を確認する。	
	「しごと」にあった「つくり」を考えよう。		
30分	2. 「つくり」について調べ、前時で「しごと」に引いた青線に加え、「つくり」に赤線引く。 3. 見つけた「つくり」を交流し、よいと思ったところは黒線で書き加える。 4. 「しごと」に合った「つくり」をワークシートにまとめる。 5. 「しごと」と「つくり」が合っているか、同じじどう車を選んだ友だちとアドバイスし合う。	・「つくり」の見るポイントを示す。(車体の形、タイヤの大きさ・数、荷物を入れる場所、人が乗る場所、特別な道具など) ・友だちの意見を聞いて線を黒で足してよいことを伝える。 ・選んだ「つくり」がどうして「しごと」の役に立つか、目的も考えるよう促す。 ・アドバイスし合い、気づいたことはふりかえりに書くように伝える。	紹介したい自動車の「しごと」に合った「つくり」を考え、書いている。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)
10分	6. ふりかえりをする。	・ふりかえりの書き方の型を提示する。 ・次時に向けて、書き直したいことなどを書くように声をかける。	

11. 本時2の評価基準(ルーブリック)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する状況への支援
紹介したいじどう車の「しごと」に合った「つくり」と「目的」を区別してワークシートに書いている。	紹介したいじどう車の「しごと」に合った「つくり」を考えて選び、ワークシートに書いている。	「しごと」と「つくり」を分かるようにした短冊を用意する。